



関西の病院に寄ってみた

受付の前で事務員3名が患者さん対応していた

患者さんと担当者の中に緩衝役として配役している

接遇に力を入れている病院のシステムが変わってきている

全ての患者さんへのサービス向上を目指す

それでも全ての患者さんに満足はしてもらえない

それでも全ての患者さんに満足してもらえよう努力している

Change

変わることはむづかしい

それでも常に

Change

これから変わる明日に夢がある

変わることを恐れるな

勇気をもって

Change

今回の KOGA-ISO ニュースは、下記の7つがメインとなります。

1. TQM 通信 (第8号)
  2. 呼び名が決定しました!
  3. ホスピタルガーデン
  4. だきっこ保育園避難訓練
  5. アウトリーチコンサート
  6. NST 委員会より
  7. 医療安全管理室より
- in 古賀 2011

## 1 . TQM 通信 ( 第 8 号 )

今回は、「重点指向」の考え方について以下の提案をします。

問題に優先順位をつけ、重点課題を改善していこう、という考え方が「重点指向」であると考えますが如何でしょうか。

前回の TQM 通信では「目標設定に必要なプロセスの考え方」について提案し ISO 研究会参加者に考え方の投げかけをしました。その中で「理念、経営方針、長期計画、中期計画、事業計画(年度)」がある事で組織が望む方向性(ありたい姿)を示し、所属する部門・部署・委員会等は目標を立てる、という一般的な構図について違和感なく話を聞いていらっしまったのではないかと思います。

TQM 推進部では、同心会の「TQM」を“「品質(サービス)の更なる向上」「健全な経営」の両輪をバランス良く稼働させること”と仮定し活動してきました。「品質(サービス)の更なる向上」の為には、従来のシステムをベースに特にその年度に取り組む重点目標を設定し、実行することが必要だと考えています。「健全な経営」の為には、中・長期計画からその年度の事業計画に併せて重点目標を設定する必要があると考えています。

以上「品質」「経営」の2点について優先順位を付けた問題(課題)を重点目標として取り組む提案をしたいと思います。詳細は品質管理委員会および ISO 研究会で説明します。

## 2 . 呼び名が決定しました!



2010年9月1日から古賀総合病院1階フロアにおいて、8時00分～12時00分まで元看護師長の斉藤さんと横山さんに外来患者さんのお世話をお願いしています。このお二人の呼称を募集していましたが、集まった候補の中から『外来案内』が選ばれました。

分からない事やお困りの場合には、どうぞお気軽に『外来案内』までお声掛けください。

## 3 . ホスピタルガーデン



11月8日(火)12:30より、古賀総合病院正面玄関前にてホスピタルガーデンの第14回植栽が行われました。職員・ボランティア(中村園芸場)が集まり、思い思いに花を選び、大きな鉢に植えていきました。中にはベテランの方もいて、初心者にもコツを教えながら、一緒に花を植えている場面も見られました。

和気あいあいとした中、玄関前には白や黄色にピンクなど色とりどりの花が並び、一気に華やかになりました。

みなさんと協力して植えた花たちが、来院された方々の心を和ませてくれることを願います。



## 4 . だきっこ保育園避難訓練



11月15日(火)だきっこ保育園において火災が発生したことを想定した避難訓練が行われました。子ども達は、先生の話をよく聞いて、はだしのまま外へ避難しました。不安で泣いてしまう子もいましたが、静かに素早く外へ出ることができました。避難



後は、消防士さんの「押さない・走らない・しゃべらない・戻らない」の話を聞いて、さらに防災意識を高めることができたのではないのでしょうか。

## 5 . アウトリーチコンサート in 古賀 2011

11月29日(火)にコスモスコンサートが行われました。

日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによる、洗練された弦楽器の音色に多くの方が聴き入りました。クラシックや童謡、なじみのあるポップな曲など、様々



な演目を演奏してくださいました。沖縄地方の遊びうたでは、ピチカートという弦を指ではじく演奏を披露してくださいました。

最後の曲「ふるさと」では、演奏に合わせて会場の皆さんが一体となって楽しく歌いあげました。午後のひととき、心が豊かになる素晴らしい時間を過ごす事ができました。

弦楽四重奏の皆さん、素晴らしい演奏をありがとうございました。

### プログラム

モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク《セレナード ト長調 K525》  
遊びうた（沖縄）

ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集『四季』より「春」

山田耕筰：赤とんぼ

中村八大：上を向いて歩こう

いずみたく：見上げてごらん夜空の星を

ピアソラ：リベルタンゴ

服部良一：青い山脈

岡野貞一：ふるさと

ビートルズ：イエスタデイ

葉加瀬太郎：「情熱大陸」のテーマ



## 6 . NST委員会より

NST委員会 リハビリテーション技術部 長嶺 野乃



### 美味しい食事とは？

好きなものを好きなだけ好きなスピードで自分で食べること！！

今回は、そんな自分で食べることを補助する自助具をいくつかご紹介します。

#### 箸

様々な障害を持っていても箸で食事をしたいと希望される方は多く、様々なタイプの箸自助具（介助箸）があります。廃用症候群、脳血管疾患の麻痺などにより、手の細かい動きが困難になった方が使われる自助具です。



二本の箸をバネで連結させることによって、ピンセットのような使い方によって物をつかむことができます。手の指の変形、握力の低下などで、箸で食べ物をつまみにくい人に適用です。



指の当たる部分に溝が掘ってあります。この溝の部分がガイドとなって、持ちやすくしてあります。ピンセットタイプよりもわずかな指の動きで使用することができます。

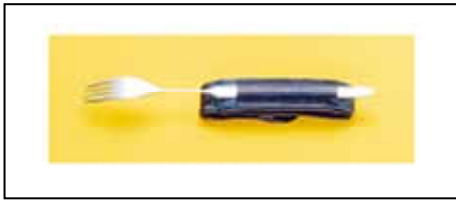
#### スプーン・フォーク

スプーン・フォークに関してもニーズは多いようで、色々なタイプや素材のものが考案・販売されています。箸と同様に廃用症候群、脳血管疾患等の疾患によって、物を持って腕を返すことが出来ない（または、そうすると震えてしまう）、指の細かい動きが難しい、握る力が弱いなどの方が使われる自助具です。



先を曲げることによって、手関節の動きなしで、すくった物をそのまま口に入れられます。

先は自分の思ったように手で曲げることができるため、手首の拘縮がある方などに適用です。グリップで柄を太くすることで、手指の力が弱くても、しっかりと握ることができます。



#### バンド

スプーン・フォーク等にバンドをセットするだけで、より使いやすくなります。握力の弱い方や、全くない方、掌が上に向けられない方におすすめです。




スプーンとピンセットを合わせたような形状で、ピンセットのように物をつかんだり、やわらかいものであれば切ることもできます。閉じるとスプーンのようにも使えます。

今回は、食事の際の自助具の中で、スプーン・フォーク・箸などについてご紹介させていただきました。紹介した自助具は、同様のものがお店やインターネット上で販売されています。

なお、どのような自助具を選べば良いのか分からない、価格を知りたい、または、食事場面でのお悩みがある場合には、ぜひりハビリまでご相談ください。

## 7. 医療安全管理室より

医療安全管理室 副室長 和泉貴子

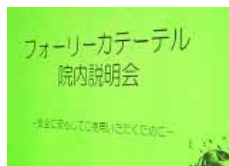


**最優秀ベストプラクティス賞**      **東京ビッグサイト**

11月19日、20日に、東京ビッグサイトで行われた第6回医療の質・安全学会学術集會に参加してきました。主に医療情報システムと医療安全、地域全体で取り組む医療安全体制、医療の質・安全のための科学的方法論、と内容はどれも目新しく感じられ、大変有意義な時間を過ごしました。12月の医療安全管理部会で情報収集した内容を報告したいと考えていますので皆さんお気軽にご参加ください。

\* . \* . \* . \* . \* . \* 推進活動・研修支援・その他報告 \* . \* . \* . \* . \* . \*

看護部新人研修「カテーテル管理：フォーリーカテーテル」(株)メディコン共催 11.18



看護部では厚労省・日本看護協会による「新人看護職員卒後臨床研修ガイドライン」に準拠した内容を年間教育計画に沿って実行中です。看護部新人研修年間計画も後半に入りました。受講する新人看護師さんは真剣そのもの。今回は尿路カテーテルの「フォーリーカテーテルを正しく安全に使用するために」を研修担当者やメーカー共催で基礎知識講座＋シミュレーターによる実践研修を開催しました。

2011年度 輸血勉強会始まる！ 11月24日

共催：宮崎県赤十字センター

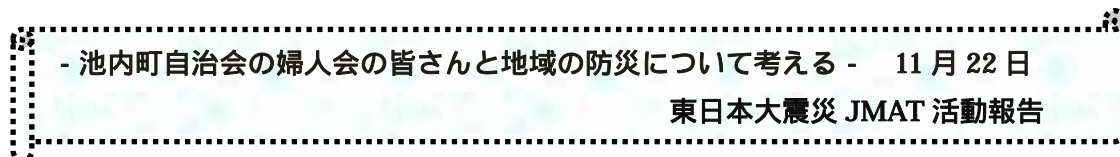
今年度は、例年3回開催される勉強会のうち1回は勤務時間内のランチタイムに実施しました。これは看護職員はじめ多職種に育児休暇明け復職者、短時間勤務者、臨時職員の方など時間外研修に参加が困難な職員に配慮された特設企画で



す。「血液製剤の正しい取り扱い、医療過誤事例、当院の輸血業務手順と注意」を担当者から説明を受け、改めて担当者の確認の重要性(間違いはないか)を再考する内容でした。12月開催は2日(金)と6日(火)しっかり基礎知識を復習しましょう。

近年、多様なWLB(ワークライフバランス)により就業している方が多くなってきました。この日参加した職員は約30名、終了後のアンケートでは「勤務時間内に研修を受けられれば大変嬉しい、ランチタイムで構わない(現場に迷惑を掛けたくない)他の勉強会もやって欲しい」という意見が多くありました。今後、積極的に企画していく必要があるようです。

##### = = = = ##### = = = = ##### = = = = ##### = = = =



3月11日に発生した“未曾有の出来事”

「東日本大震災」は東北・関東地方の太平洋沿岸部都市の破壊と約2万人の尊い人命を失わせた。

日本医師会災害医療チームに参加し被災地の医療支援と避難所生活の経験から、家族や地域を守るための災害への備えについて意見交換を行いました。

防災・減災の基盤

『自分を守り、家族を守り、近隣住民を守る、自治会町内会等の地域の助け合い』

勿論、総合病院との協働体制についても今後の課題です。

### 1Fリハビリテーション室に除細動器・救急カートを新設



循環器内科による心臓リハビリテーション療法の開始に伴い、救命処置機器・物品の配置の準備となりました。同期して院内BLS講習もリハビリテーション技術部スタッフと開催しています。一次救命処置の意義・目的の基礎から実技トレーニング(AED)までを75分で構成し“和気あいあい”とやっています。次回は年内最後12月12日(月)17:30~1Fリハビリ室で開催、参加希望者にご連絡下さい(3362:和泉)